

TALK IN JAPANESE FOR 6 WEEKS

WEEKLY

日本語で話す 6 週間

book 1

【トレーニングのヒント】 (week2 編)

* トレーニングは、スポーツ感覚で体（口）に覚えさせましょう！

Unit 06 「～んです」

* 普通形がすらすら言える

(→ 「トレーニングのヒント (活用編)」 参照)

Unit 07 「～と～」

* 機能を説明するときの表現を覚える

p.27「言葉を増やそう」のイラストや、その他の必要な語彙を絵カードにして練習し、適切な語彙が素早く言えるようにします。

【用意するもの】

- ・前件用絵カード

p.27のイラスト（押す、タッチする、縦／横にする、回す、拡大する）と、「開ける、書く」など

- ・後件用絵カード

p.27のイラスト（出る、つく、出てくる）と、「大きくなる、鳴る、消える」など

※2種類とも、裏に語彙を文字で書いておく。

【手順】

- ①ペアになる。
- ②学習者Aが学習者Bに絵カードを見せる。
- ③学習者Bは、②を見て、語彙を言う。

* 「～と～」がすらすら言える

前件と後件を組み合わせて言います。

【用意するもの】

- ・表現を覚えるときに使った前件用絵カード、後件用絵カード

【手順】

- ①ペアになる
- ②学習者Aが前件用絵カード、後件用絵カードを1枚ずつ学習者Bに見せる。
- ③学習者Bが「～と～」で文をつなげて言う。

トレーニングのヒント

* 前件は他動詞の「～をV」、後件は自動詞の「～がV」の助詞も一緒に言わせるようにしましょう。

例) 「ボタンを押すと、音が鳴ります。」など

Unit 08 「～そうです」・「～ましょうか」

* 状態の「～そう」がすらすら言える

(→「トレーニングのヒント (活用編)」参照)

【用意するもの】

・「～そう」の文が作れるいろいろな形容詞をカードにしたもの

例) 「暑い、難しい、楽しい、重い、便利、元気」 など

※裏に答えを書いておく。

【手順】

- ①ペアになる。
- ②学習者Aが学習者Bに絵カードを見せる。
- ③学習者Bが「～そうです」を言う。

* 「～そうですね。～ましょうか。」がすらすら言える

相手のジェスチャーを見て、素早く反応する練習をします。

【用意するもの】

・状態の「～そう」の練習で使った絵カードの中から、「暑い、重い」など、手助けを申し出ることができるようなカードのみを選んでおく。

【手順】

- ①ペアになる。
- ②学習者Aは絵カードを見て、ジェスチャーをする。
(学習者Bには絵カードを見せない。)
例) 寒い
- ③学習者Bは、学習者Aを見て「～そうですね。～ましょうか。」と言う。
例) 「寒そうですね。ジャケットを貸しましょうか。／窓を閉めましょうか。」



トレーニングのヒント

* 学習者Aにはきちんと最後まで反応するように指導し、A→B→Aで会話が終わるようにしましょう。

例) A: 「ありがとうございます。お願いします。」 など

Unit 09 名詞修飾

* 普通形・可能形がすらすら言える

(→「トレーニングのヒント (活用編)」参照)

* 「(普通形) + Nは___です」

p.37「練習しよう」を使って、変換練習をします。

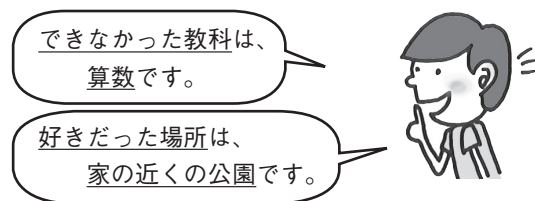
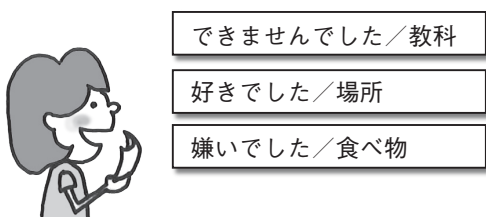
【用意するもの】

- ・ p.37「練習しよう」の名詞修飾節（「好きでした、嫌いでした」など）と名詞（「食べ物、場所」など）の文字カード

例) 好きでした／食べ物
できませんでした／教科
よく遊びました／友達

【手順】

- ①ペアになる
- ②学習者Aはカードを読む。
例) 「できませんでした／教科」
- ③学習者Bは指示を聞き、名詞修飾の文を作る。
例) 「できなかった教科は、算数です。」

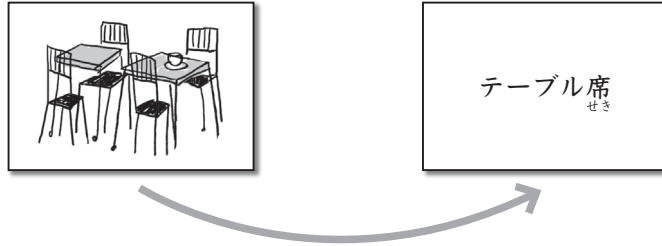


Unit 10 予約するときに必要な語彙

* 予約をするときに必要な語彙を覚える

【用意するもの】

- ・ p.39「言葉を増やそう」や、その他の必要な語彙（例：美容院なら「カット、カラー、パーマ」、レストランなら「テーブル席、カウンター席、禁煙席、喫煙席」など）を絵カードにし、裏に語彙を書いておく。



【手順1】

- ①ペアになる。
- ②学習者Aが学習者Bに絵カードを見せる。
- ③学習者Bが語彙を言う。

【手順2】

- ①ペアになる。
- ②学習者Aはカードを見ながら語彙を言う。
- ③学習者Bは、②を聞いて、対になるものを答える。

例) A:「和室ですか。」 B:「いいえ、洋室です。」
A:「カウンター席ですか。」 B:「いいえ、テーブル席です。」
A:「本日ですか。」 B:「いいえ、明日です。」

【手順3】

- ①ペアになる。
- ②学習者Aが対になるカードを2枚見せる。
例) カウンター席・テーブル席
- ③学習者Bは、②を見て、「～ですか、～ですか。」の形で答える。
例) B:「カウンター席ですか、テーブル席ですか。」

